

令和2年度

学生募集要項

(一般入試)

インターネットにより出願受付

学力検査日	(前期日程) 令和2年2月25日(火) (後期日程) 令和2年3月12日(木)
出願登録期間	令和2年1月27日(月)～令和2年2月5日(水) ※詳細は、4～6ページの「2. 出願手続」をよく読んでください。
合格者の発表	(前期日程) 令和2年3月6日(金)午前10時 (後期日程) 令和2年3月23日(月)午後3時

奈良教育大学

目 次

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II. 募集人員等	2
III. 個別学力検査等による選抜	3
〔一般入試（前期日程・後期日程）〕	
1. 出願資格	3
2. 出願手続	4
3. 受験票の印刷	6
4. 選抜方法	7
5. 配点	7
6. 試験期日と時間	7
7. 試験場	8
8. 受験についての留意事項	8
9. 合格者の発表	9
10. 入学手続等	9
11. 欠員補充の方法	10
12. 個人情報の利用について	11
表1 令和2年度奈良教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について	12
表2 実技検査等の内容・評価の観点	21
表3 小論文の内容・評価の観点	23
表4 面接の内容・評価の観点	23
IV. 入試情報の開示について	24
V. 障害等を有する入学志願者との事前相談	24

※大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように表しています。

- 国語 → 国
「国語」 → 「国」
- 地理歴史 → 地歴
「世界史 A」 → 「世 A」、 「世界史 B」 → 「世 B」、 「日本史 A」 → 「日 A」、 「日本史 B」 → 「日 B」、 「地理 A」 → 「地理 A」、 「地理 B」 → 「地理 B」
- 公民 → 公民
「現代社会」 → 「現社」、 「倫理」 → 「倫」、 「政治・経済」 → 「政経」、 「倫理、政治・経済」 → 「倫政経」
- 数学 → 数
「数学 I」 → 「数 I」、 「数学 I・数学 A」 → 「数 I・数 A」、 「数学 II」 → 「数 II」、 「数学 II・数学 B」 → 「数 II・数 B」、 「簿記・会計」 → 「簿」、 「情報関係基礎」 → 「情報」
- 理科 → 理
「物理基礎」 → 「物基」、 「化学基礎」 → 「化基」、 「生物基礎」 → 「生基」、 「地学基礎」 → 「地基」、 「物理」 → 「物」、 「化学」 → 「化」、 「生物」 → 「生」、 「地学」 → 「地」
- 外国語 → 外
「英語(リスニングを含む)」 → 「英・英リ」、 「ドイツ語」 → 「独」、 「フランス語」 → 「仏」、 「中国語」 → 「中」、 「韓国語」 → 「韓」

I. 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

1. 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
2. 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
3. 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
4. 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
5. 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

入学者選抜の基本方針

【教育学部】

奈良教育大学は、教育学部の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、一般入試(前期日程・後期日程)、アドミッション・オフィス入試、帰国生徒特別入試並びに私費外国人留学生特別入試により入学者を選抜します。

一般入試では、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績と、調査書等の内容を総合して評価します。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学、問題提供大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。

なお、必ず使用するとは限りませんが、使用した場合は、個別学力検査等の終了後に本学ホームページで発表します。

詳細は「<http://www.nyushikakomon.jp/>」にて公表しておりますが、不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

II. 募集人員等

課程・専攻	専修・履修分野	入学定員(名)	募集人員(名)	募集人員内訳(名)						
				一般入試		特別入試(注1)				
				前期日程	後期日程	アドミッション・オフィス入試	帰国生徒	私費外国人留学生		
学校教育 教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修	15	9	3	3	若干名	若干名		
		心理学専修	15	9	3	3	-			
		幼年教育専修	13	8	3	2				
		特別支援教育専修	12	7	3	2				
	教科教育専攻(注2)	国語教育専修	初等教育履修分野	25	13	9	2	2	若干名	
			中等教育履修分野		12	8	2	2		
		社会科教育専修	初等教育履修分野	25	14	10	2	2		
			中等教育履修分野		11	7	2	2		
		数学教育専修	初等教育履修分野	26	14	9	3	2		
			中等教育履修分野		12	8	2	2		
		理科教育専修	初等教育履修分野	29	17	11	4	2		若干名
			中等教育履修分野		12	7	3	2		若干名
		音楽教育専修	初等教育履修分野	18	14	8	4	2		若干名
			中等教育履修分野		4	3	1	-		
		美術教育専修	初等教育履修分野	11	7	3	2	2		
			中等教育履修分野		4	3	1	-		
		保健体育専修	初等教育履修分野	19	11	6	3	2		
			中等教育履修分野		8	4	2	2		
	家庭科教育専修	初等教育履修分野	9	5	3	1	1			
		中等教育履修分野		4	3	1	-			
技術教育専修	中等教育履修分野	4	2	1	1					
英語教育専修	中等教育履修分野	12	6	4	2	若干名				
伝統文化 教育専攻	書道教育専修	15	9	5	1	-	若干名			
	文化遺産教育専修	7	4	2	1	-				
合計		255	255	156	59	40	若干名	若干名		

(注1) アドミッション・オフィス入試は、大学入試センター試験を課す特別入試です。アドミッション・オフィス入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員に当該数を加えます。

帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試の入学手続者があった場合は、前期日程の募集人員から当該数を減じます。

(注2) 一般入試(前期日程及び後期日程)では、教科教育専攻の各専修(技術教育専修及び英語教育専修を除く)で、同一専修の初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第一志望に、他方を第二志望にすることができます。

Ⅲ. 個別学力検査等による選抜〔一般入試(前期日程・後期日程)〕

1. 出願資格

本学に入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、**令和2年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者**です。

※本学は、平成31年度以前の大学入試センター試験の成績は利用しません。

- (1) 高等学校(特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び令和2年3月末までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年4月1日までに18歳に達する者

(注) 上記(2)に該当する者は、高等専門学校の第3年次を修了した者です。

上記出願資格(3)の⑥における個別の入学資格審査について

上記出願資格(3)の⑥により出願を希望する者については、事前に個別の入学資格審査を行います。令和2年度入学者選抜試験においては、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者を対象としますので、以下により申請してください。なお、不明な点がある場合は入試課へお問い合わせください。

(1) 申請期間及び申請先

申請期間：令和2年1月20日(月)から1月22日(水)まで(必着)

申請先：〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学入試課

電話：0742-27-9126

申請書類を郵送する場合は、封筒表面に「大学入学資格審査申請書類在中」と朱書きするとともに、簡易書留郵便とすること。

(2) 申請書類

① 入学資格審査申請書

様式は、窓口、本学ホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/>)及び郵送にて配布します。郵送による配布を希望する者は、表に「入学資格(一般入試)審査申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(84円切手を貼り、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

② 当該学校の教育課程が高等学校の教育課程と同等であることが証明できる書類(学則など)

- ③ 当該学校の教育内容等が証明できる書類(カリキュラム表、授業時間数一覧など)
- ④ 卒業証明書又は卒業見込証明書
- ⑤ 申請者の郵便番号、住所、氏名を記載した返信用封筒(長形 3 号定形に 404 円切手を貼付したもの)

(3) 審査基準

申請者の当該学校の教育課程等(修業年限、年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数等)が高等学校学習指導要領に準じているかを調査し、申請者の学力が高等学校を卒業した者と同等以上であるかを審査します。

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、申請者宛に郵送により通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学入学資格認定書」を同封しますので、出願書類送付時に「奈良教育大学入学資格認定書(写)」を添付してください。

2. 出願手続

出願完了には、下記①～③の全ての手続が必要です。各手続には受付期間等（下記「(1) 出願期間及び検定料支払期限」参照）を設けています。いずれか一つでも手続が受付期間中に完了できていない場合、出願が受理できませんので、それぞれの受付期間等に十分ご注意ください。

- ① インターネットによる出願登録（登録にはEメールアドレスが必要）
- ② 検定料 17,640 円（支払手数料含む）の支払（前期日程、後期日程それぞれで支払いが必要）
- ③ 出願書類等（5 ページ）の提出（郵送）

インターネット環境がない等の理由で、インターネットによる出願登録を行えない場合は、奈良教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いします。

奈良教育大学入試課：0742-27-9126

※出願登録期間中、入試課窓口にて出願登録及び印刷をすることができます。

利用可能期間：出願登録期間中の平日（9:00～17:00）

<出願の流れ>（注）前期日程、後期日程でそれぞれ出願登録が必要です。



（※）受験票の印刷が可能になりましたら、本学の入試情報ホームページでお知らせします。

(1) 出願期間及び検定料支払期限

各手続については、定められた各期間内に完了してください。

〔出願登録受付期間〕 令和 2 年 1 月 27 日（月）～令和 2 年 2 月 5 日（水）17:00 まで

※ 出願書類の郵送が必要であることをよく考慮して出願登録を行ってください。

※ インターネット回線やパソコンの不具合等に備え、早めに出願するようにしてください。

〔入学検定料支払期間〕 令和 2 年 1 月 27 日（月）～令和 2 年 2 月 5 日（水）23:59 まで

〔出願書類受付期間〕 令和2年1月27日(月)～令和2年2月5日(水) (消印有効)

※ 出願書類受付期間中の消印がないものは受理できません。

※ 出願書類は下記「(3) 郵送による提出が必要な出願書類 (以下、「出願書類等」という。)」を参照。

出願書類等を日程ごとにとりまとめ、印刷した出願用封筒宛名ラベルを各自で準備した角型2号サイズ封筒に貼付し、「簡易書留便」で郵送してください(入試課窓口では受け付けできません)。また、前期及び後期の両日程に出願する場合は、1つの封筒に両日程の出願書類をまとめて送付してください。

なお、大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者以外は、受理した書類はいかなる理由があっても返還しません。

(2) インターネットによる出願登録

以下のURL又は、右のQRコードからインターネット出願ページにアクセスし、「出願方法」を確認の上、出願登録を行ってください。(本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。)



出願登録ページ <http://apply.nara-edu.ac.jp/guidance/net-nara-edu/>

(3) 郵送による提出が必要な出願書類 (以下、「出願書類等」という。)

出 願 書 類 等	提出該当者	様 式	摘 要
出 願 登 録 確 認 票 写 真 票 センター試験成績請求票 〔前期日程用〕 〔後期日程用〕	全 員	本学所定	出願登録後、 出願登録確認票等 を印刷し、内容をよく確認してください。 ・ 写真票 所定の欄に、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。 ・ センター試験成績請求票 出願する日程に応じた「 令和2センター試験成績請求票 」を必ず指定箇所に貼付してください。
写 真 票 (副) 〔前期日程用〕 〔後期日程用〕	<u>保健体育専修 志願者のみ</u>	本学所定	・ 写真票 (副) 保健体育専修志願者のみ「写真票」と同じ写真を貼付してください。 <u>保健体育専修以外の志願者は、写真を貼付する必要はありません。</u>
調 査 書	全 員	文部科学省 所 定	出身学校長が作成し、 厳封したもの (備考参照)。 前期及び後期の両日程に出願する場合は、日程ごとに1通(計2通)作成の上、提出してください。
スポーツ・運動歴調書 〔前期日程用〕 〔後期日程用〕	<u>保健体育専修 志願者のみ</u>	本学所定	出願登録後、 出願登録確認票及びスポーツ運動歴調書の作成についての依頼 とともに印刷してください。 高等学校等の教員を通して出身学校長に作成を依頼し、 調書に記載した成績・記録を証明する資料を添付した上、厳封したものを提出してください。

(備考:調査書について)

- ア. 高等専門学校第3学年修了(見込)者、文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程と認定又は指定した在学教育施設の当該課程修了(見込)者については、文部科学省所定様式に準じ作成してください。
- イ. 高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格成績証明書(免除科目のある場合は、免除申請等書類を含む)をもって代えてください。なお高等学校等に在学したことのある者は、在学期間中の調査書又は、成績証明書を併せて提出してください。
- ウ. 出身学校の廃校、指導要録保存期間の終了又は被災その他の事情で出身学校長の調査書が得られない場合には、その理由書とともに、卒業証明書及び成績通信簿、単位修得証明書その他志願者において提出可能な書類で、これに代えることができます。なお、被災等による場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長等が作成した証明書(外国の学校卒業者等については、所轄官庁などの卒業証明書等)を提出してください。
- エ. 「1.出願資格」(3ページ)の(3)(ただし、⑤をのぞく)のいずれかにより出願する者のうち、出身学校長の調査書が得られない場合には、卒業証明書及び、成績通信簿又は単位修得証明書で、これに代えることができます。

(4) 出願上の留意事項

- ① 出願登録内容は、出願登録直前の「入力内容の確認」ページで必ず確認してください。
- ② 検定料支払い前に出願登録した内容を修正したい場合は、再度、新たに出願登録をして登録番号を取得してください。検定料の支払いや出願書類提出の際は、登録内容、登録番号を必ず確認してください。
- ③ 出願登録のみでは出願完了となりません。必ず検定料の支払い及び出願書類の送付を行ってください。
- ④ 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ⑤ **本学が指定した令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目のうち一つでも未受験のものがある場合は、個別学力検査等は受験できませんので注意してください。**
- ⑥ 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、出願後に住所・連絡先等の登録事項を変更したときは、ただちにその旨を入試課へ届け出てください。
- ⑦ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑧ 前期日程及び後期日程ともに同時に出願する場合は、出願書類を一つの封筒にまとめて構いません。その際、調査書は2通提出してください。
- ⑨ 出願書類送付の際、出願登録後の「出願書類の郵送」もしくは「申込確認」のページから「宛名ラベル」(PDF ファイル)を印刷し封筒表面に貼付してください。
- ⑩ 保健体育専修志願者以外は「写真票(副)」を提出する必要はありません。
- ⑪ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
 - ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ. 大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合(手数料4,000円を除いた額を返還します。)なお、上記ア～ウに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。
- ⑫ 本学は、分離分割方式(前期日程・後期日程)で個別学力検査を実施します。

本学の「前期日程」に出願する者は、本学の「後期日程」又は他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の「後期日程」に出願することができます。

本学の「後期日程」に出願する者は、本学の「前期日程」又は他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することができます。 ※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)参照
- ⑬ 国公立大学・学部の推薦入試合格者又はAO入試合格者は、個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。ただし、当該大学・学部の定める推薦入試又はAO入試の辞退手続により、入学の辞退を許可された場合を除きます。
- ⑭ 「前期日程」の大学・学部合格し、入学手続を行った者は、「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。
- ⑮ 一般入試(前期日程及び後期日程)では、教科教育専攻の各専修(技術教育専修及び英語教育専修を除く)で、同一専修の初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第一志望に、他方を第二志望にすることができます。なお、第一志望のみでの出願も可能です。いずれかの履修分野を第一志望又は第二志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。あくまでも両方の履修分野に出願があったものとして取り扱い選抜を行います。
- ⑯ **教科教育専攻理科教育専修を受験する者は、個別学力検査の科目について、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の中から1科目を出願時に必ず選択してください。**

【保健体育専修志願者のみ】

- ⑰ 保健体育専修志願者は、「スポーツ・運動歴調書」(記載内容を証明する資料を含む)を提出してください。出願登録後、「スポーツ・運動歴調書の作成についての依頼」とともに「スポーツ・運動歴調書」を印刷し、高等学校等の教員を通して出身学校長に作成を依頼してください。
- ⑱ 「スポーツ・運動歴調書」は厳封されたものでなければ受理しません。
- ⑲ 保健体育専修志願者は「写真票(副)」に「写真票」と同じ写真を貼付し提出してください。

3. 受験票の印刷

- (1) 出願期間終了後、2月14日(金)までにマイページより受験票が印刷できるようになりますので受験票を印刷し、試験当日必ず持参してください。

なお、受験票の印刷が可能になりましたら本学ホームページでもお知らせします。

- (2) **受験及び入学手続の際には、印刷した本学受験票及び令和 2 年度大学入試センター試験受験票が必要です。大切に保管しておいてください。**

4. 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績、調査書等の内容を総合して成績上位者から選抜します。

- (1) 本学が指定した令和 2 年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は、**12～19 ページの表 1**に記載のとおりです。
- (2) 実技検査等の内容・評価の観点は、**21 ページの表 2**に記載のとおりです。
- (3) 小論文の内容・評価の観点は、**22 ページの表 3**に記載のとおりです。
- (4) 面接の内容・評価の観点は、**22 ページの表 4**に記載のとおりです。
- (5) **音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修では、個別学力検査(実技検査)の得点(16 ページからの表 1、「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄の「実技」の得点)が満点の 1/2 未満の場合は不合格となります。**

5. 配点

大学入試センター試験、個別学力検査等の配点は、**12～19 ページの表 1**に記載のとおりです。

6. 試験期日と時間

		前期日程 2月25日(火)		後期日程 3月12日(木)		
学校 教育 教員 養成 課程	教育 発達 専攻	教育学専修	小論文	9:00～10:30	面接	9:00～
		心理学専修	小論文	9:00～10:30	小論文	9:00～10:30
		幼年教育専修	小論文	9:00～10:30	面接	9:00～
		特別支援教育専修	小論文	9:00～10:30	小論文	9:00～10:30
	教科 教育 専攻	国語教育専修	国 語	10:50～12:20	小論文	10:50～12:20
		社会科教育専修	小論文	10:50～12:20	小論文	10:50～12:20
		数学教育専修	数 学	9:00～10:30	面接	9:00～
		理科教育専修	理 科	9:00～10:30	理 科	9:00～10:30
		音楽教育専修	楽 典	9:00～ 9:50	楽 典	9:00～ 9:50
			実技検査	10:20～15:00	実技検査	10:20～15:00
		美術教育専修	実技検査	13:10～16:30 (※1)	実技検査	13:10～16:30 (※1)
		保健体育専修	実技検査	13:10～17:00	実技検査	13:10～17:00
		家庭科教育専修	小論文	10:50～12:20	面接	9:00～
		技術教育専修	小論文	9:00～10:30	面接	9:00～
	英語教育専修	英 語	10:50～12:20	英 語	10:50～12:20	
	伝統 文化 教育 専攻	書道教育専修	実技検査	13:10～15:00	実技検査	13:10～15:00
		文化遺産教育専修	小論文 (選択問題として 造形表現を含む)	9:00～10:30	小論文 (選択問題として 造形表現を含む)	9:00～10:30

(注) 実技検査については、受験者数や天候により予定時間に試験が終了しない場合があります。

(※1) 実技検査時間には、課題に関する説明20分が含まれています。

7. 試験場

奈良教育大学（奈良市高畑町）

近鉄奈良駅・JR 奈良駅より市内循環バス「高畑町（奈良教育大学）」下車（裏表紙参照）

8. 受験についての留意事項

- (1) 試験場の下見は次の期間に限り可能です。ただし、建物内や試験室内には入れません。
前期日程 令和2年2月21日（金）
後期日程 令和2年3月11日（水）
下見時間は午後1時から午後3時まで
- (2) **下見及び試験当日は自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。**また、大学周辺には、乗降のために停車できる場所がありませんので、**自動車による送迎は自粛し、公共交通機関等を利用してください。近隣店舗駐車場や周辺路上にて送迎目的での駐停車はしないでください。**
- (3) **試験当日には、各自印刷した「本学受験票」と「令和2年度大学入試センター試験受験票」を必ず持参し、正門で提示してください。正門の掲示により、試験場を確認してください。**
- (4) (3)の受験票を忘れたとき又は紛失したときは、ただちに、試験場本部へ申し出てください。
- (5) 試験当日、**各試験開始15分前までに**掲示等の指示に従い入室してください。
- (6) 試験室は掲示をよく見て確認のうえ、本学の受験番号と机上の番号が一致するよう着席し、本学受験票及び令和2年度大学入試センター試験受験票を机上の右肩に置いてください。
- (7) 机には受験票、筆記用具(黒又は青のボールペン、黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム)、腕時計(計時機能だけのもの)以外の物は置かないでください。参考書、身のまわりの物は椅子の下にまとめて置いてください。**試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。**
- (8) **試験開始後30分を経過して遅刻した者は受験することができません。ただし、面接試験については開始時刻に遅刻した者は受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認した上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。**
- (9) 面接は、受験者数により一部受験者の開始時間が午後になる場合がありますので、**念のため昼食を持参してください。**
- (10) 試験開始後は、終了するまで途中退室はできません。トイレ等による退室は監督者の指示を受けてください。
- (11) 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
- (12) **実技検査の集合時間は各試験開始時刻の15分前とします。**なお、各集合室は掲示を確認してください。
- (13) 以下の専修を受験する者は、次の物を持参してください。
 - 教科教育専攻音楽教育専修
 - 〔音楽実技選択種目B（21ページ参照）を選択した者は、音楽実技種目記入票に記入した楽器
 - 〔音楽実技選択種目C（21ページ参照）を選択した者は、邦楽器(箏又は三味線)
 - 教科教育専攻美術教育専修
 - 〔はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式(アクリル系絵の具は不可)、パレット、筆、水入れ、雑巾
 - なお、立体製作の造形紙、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、仮止め用クリップ、静物写生の紙、画板、イーゼル(画架)は、大学で用意しますので不要です。
 - 教科教育専攻保健体育専修
 - 運動靴(屋内用と屋外用の2足)、運動服
 - ※スパイクシューズの使用は認めません。
 - 伝統文化教育専攻書道教育専修
 - 太筆(半紙6字書き程度)、仮名用細筆、墨(墨汁も可)、硯、文鎮、練習用半紙、下敷(半紙用)
 - 伝統文化教育専攻文化遺産教育専修
 - 鉛筆、消しゴム
- (14) 教科教育専攻理科教育専修を受験する者は、個別学力検査の科目について、出願時に選択した科目しか解答できません。

- (15) 本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票は、入学手続、個人成績の開示請求等に必要ですので、紛失、汚損等のないよう大切に保管しておいてください。
- (16) 連絡事項があれば、大学のホームページに掲載します。
- (17) 大学が受験のための宿舎等のあっせんを行うことはありません。
- (18) 本募集要項に関して不明な点がある場合は、入試課へお問い合わせください。

9. 合格者の発表

前期日程 令和2年3月6日(金) 午前10時

後期日程 令和2年3月23日(月) 午後3時

大学本部棟東側の入学試験掲示板に掲示し、同時に合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類を郵送します。

また、掲示とともに本学ホームページ上でも合格者受験番号を掲載します。

なお、ホームページ上に掲載する合格者受験番号は、あくまでも情報提供サービスの一環として掲載するものであり、正式には学内掲示板又は合格通知で確認してください。

なお、電話などによる照会には応じられません。

10. 入学手続等

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続は、持参を原則としますが、やむを得ない理由により入学手続日に来学できない場合は、事前に申し出ることにより、郵送にて入学手続を行うことができます。

(1) 入学手続日

① 持参による入学手続

前期日程 令和2年3月15日(日) 午前10時～午後4時

後期日程 令和2年3月27日(金) 午前10時～午後4時

② 郵送による入学手続(事前に申し出た者のみ)

前期日程 令和2年3月13日(金) 必着

後期日程 令和2年3月26日(木) 必着

(2) 納付金

① 入学料 282,000円(予定額)

② 授業料 前期分 267,900円 [年額 535,800円] (予定額)

③ 入学時諸費用 54,010円

(内訳：後援会費 40,000円、同窓会費 10,000円、学生教育研究災害傷害保険等 4,010円)

(注) ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料(上記②)については、令和2年4月1日から令和2年4月30日までの間に納入してください。

ウ. 上記の入学料及び授業料は、平成31年度入学者の金額であり、令和2年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 入学時諸費用(上記③)を納入した者が、令和2年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

カ. 詳細については、合格者に配付される「入学手続要領」を参照してください。

(3) 入学手続に関する事前の連絡先等

入学手続日に本学に来学することができない場合には、次の期間に本学入試課へ申し出てください。

なお、事前の連絡がない場合には、入学手続日、手続方法の変更は認めません。

① 連絡先

奈良教育大学 入試課 0742-27-9126

② 期間

前期日程 令和2年3月6日(金)～令和2年3月12日(木) 午前9時～午後5時
後期日程 令和2年3月23日(月)～令和2年3月25日(水) 午前9時～午後5時

(4) 留意事項

- ① 入学手続日までに手続を完了しない場合は、本学への入学意思がなく、入学を辞退した者として取り扱います。
- ② 本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
- ③ 入学後、専修ごとに、日帰り又は一泊での新入生学生研修の実施が予定されています。各専修により研修内容が異なるため、研修にかかる費用も異なりますが、宿泊を伴う場合は、10,000円程度の費用が必要となる場合があります。

11. 欠員補充の方法

入学手続(令和2年3月27日)締切後において、入学定員に欠員が生じた場合には、次の順序により欠員補充を行います。

(1) 追加合格による欠員補充

- ① 追加合格の対象者は、他の国公立大学に入学手続を行っていない者としてします。
- ② 令和2年3月30日(月)以降に、該当者本人に直接電話で志願票に記入された本人連絡先に連絡をしますので、所在を明らかにしておいてください。
- ③ 受験番号等の掲示による発表は行いません。また、電話等による照会には応じられません。

(2) 第2次募集による欠員補充

上記の措置によってなお欠員があるときには、第2次募集による欠員補充を行います。

- ① 出願期日、出願書類、選抜方法、選考を行う日程等については、第2次募集要項として、令和2年4月1日(水)に発表します。
- ② 出願資格は、本学が指定した令和2年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者(出願時に大学入試センター試験受験票の提示を求めます。)で、第2次募集出願時にいずれの国公立大学・学部にも入学手続を行っていない者としてします。
- ③ 出願期間は、次のとおり予定されますが、極めて短期間なので、願書は直接本学へ持参してください(郵送不可)。なお、欠員補充第2次募集へ出願できるのは、一つの大学・学部に限られます。

[出願期間] 令和2年4月1日(水)から令和2年4月2日(木)まで(予定)

午前9時から午後3時まで

- ④ 第2次募集の出願後、他の国公立大学に入学手続を行った場合は、受験しても合格者とはなりません。

(3) 追加合格者及び第2次募集合格者の入学手続等

前記「10. 入学手続等」(9ページ)に準じて行いますが、提出・納付の期日等については、別途本人に通知します。

12. 個人情報の利用について

出願時に登録された個人情報及び提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用すること又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
なお、氏名及び大学入試センターの受験番号に限っては、国公立大学における合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) その他国立大学法人奈良教育大学の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。

URL:<https://www.nara-edu.ac.jp/privacy/>

表 1

令和 2 年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名	
				科目名等	
教育学部 255名 前期156名 後期 59名 アドミッション・オフィス 40名	教育学専修 15名 前期 9名 後期 3名 アドミッション・オフィス 3名	前期 2月25日	国	国	必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
			地歴公民理	外	国
	心理学専修 15名 前期 9名 後期 3名 アドミッション・オフィス 3名	前期 2月25日	国	国	必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
			地歴公民理	外	国
	幼年教育専修 13名 前期 8名 後期 3名 アドミッション・オフィス 2名	前期 2月25日	国	国	必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
			地歴公民理	外	国
	特別支援教育専修 12名 前期 7名 後期 3名 アドミッション・オフィス 2名	前期 2月25日	国	国	必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
			地歴公民理	外	国

選抜の実施教科・科目等について

(1/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等	
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配点 合計		
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミッ ション・ オフィス 帰国生徒 外国人 追加合格 欠員補充	
		個別学力検査								300		300		
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200		
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500		
		個別学力検査									300	300		
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800		
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900		アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300		
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200		
その他	小論文	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500		
		個別学力検査								300		300		
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800		
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充	
		個別学力検査								300		300		
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200		
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500		
		個別学力検査									300	300		
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800		
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900		アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300		
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200		
その他	小論文	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500		
		個別学力検査								300		300		
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800		

表1

令和2年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		
			教科	科目名等	
教育学部 255名 前期156名 後期 59名 アドミッション・オフィス 40名	学校 教育 教員 養成 課程	国語教育専修 25名 初等教育履修分野 13名 中等教育履修分野 12名 前期 初等教育履修分野 9名 中等教育履修分野 8名 後期 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名 アドミッション・オフィス 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 から1又は2 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から2 現社、倫、政経、倫政経 から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から2 現社、倫、政経、倫政経 から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科6科目若しくは7科目〕又は〔6教科6科目若しくは7科目〕
			前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 から1 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科6科目若しくは7科目〕
		前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 から1 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科6科目若しくは7科目〕	
		前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 C又はD D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 C又はD D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕	
		前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 C又はD D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 C又はD D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕	

選抜の実施教科・科目等について

(2/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の選抜方法等	
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配点		点計
国語	国語総合、現代文B、古典B	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	アドミッション・オフィス外国人
		個別学力検査	300										300	
		計	500	※300	※300	200	※300	200					1,200	
その他	小論文	センター試験	200	※※100	※※100	100	100	100					600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300			300	
		計	200	※※100	※※100	100	100	100		300		900		
その他	小論文	センター試験	200	○200	○200	200	100	200					900	アドミッション・オフィス外国人
		個別学力検査								300		300		
		計	200	○200	○200	200	100	200		300		1,200		
その他	小論文	センター試験	100	○200	○200	100	100	100					600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300		
		計	100	○200	○200	100	100	100		300		900		
数学	数学Ⅰ、 数学Ⅱ、 数学Ⅲ、 数学A、 数学B (べつ、 数列)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	アドミッション・オフィス外国人
		個別学力検査				300						300		
		計	200	※300	※300	500	※300	200				1,200		
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	200	100	100					600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300		
		計	100	※※100	※※100	200	100	100		300		900		
理科	「物理基礎・ 物理」、「化学基礎・ 化学」、「生物基礎・ 生物」、「地学基礎・ 地学」 から1★	センター試験	200	※※100	※※100	200	200	200					900	アドミッション・ オフィス 帰国生徒 外国人
		個別学力検査					300					300		
		計	200	※※100	※※100	200	500	200				1,200		
理科	「物理基礎・ 物理」、「化学基礎・ 化学」、「生物基礎・ 生物」、「地学基礎・ 地学」 から1★	センター試験	200	※※100	※※100	200	200	200					900	追加合格 欠員補充
		個別学力検査					400					400		
		計	200	※※100	※※100	200	600	200				1,300		

表1

令和2年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		
			教科	科目名等	
教育学部 255名 前期156名 後期 59名 アドミッション・オフィス 40名	学校 教育 教員 養成 課程	教科 教育 専攻	前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 必須 から1 から1 から1又は2
				地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 ⇨A又はB
				外	地歴公民から1科目 選択した場合 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 ⇨C又はD
				外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1
				外	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
				外	
			後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 必須 から1 から1 から1
				地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB
				外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1
				外	[5教科5科目若しくは6科目]
				外	
				外	
前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 必須 から1 から1 から1又は2			
	地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 ⇨A又はB			
	外	地歴公民から1科目 選択した場合 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 ⇨C又はD			
	外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1			
	外	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]			
	外				
後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 必須 から1 から1 から1			
	地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB			
	外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1			
	外	[5教科5科目若しくは6科目]			
	外				
	外				
前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 必須 から1 から1 から1又は2			
	地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 ⇨A又はB			
	外	地歴公民から1科目 選択した場合 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 ⇨C又はD			
	外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1			
	外	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]			
	外				
後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 必須 から1 から1 から1			
	地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB			
	外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1			
	外	[5教科5科目若しくは6科目]			
	外				
	外				
前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 必須 から1 から1 から1又は2			
	地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 ⇨A又はB			
	外	地歴公民から1科目 選択した場合 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 ⇨C又はD			
	外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1			
	外	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]			
	外				
後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 必須 から1 から1 から1			
	地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB			
	外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1			
	外	[5教科5科目若しくは6科目]			
	外				
	外				

選抜の実施教科・科目等について

(3/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の選抜方法等	
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配合		点計
その他	実技検査 (音楽実技) 楽典	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								●450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450				1,350	
その他	実技検査 (音楽実技) 楽典	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								●500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500				1,000	
その他	実技検査 (美術実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								△450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450				1,350	
その他	実技検査 (美術実技)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								△500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500				1,000	
その他	実技検査 (体育実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450				1,350	
その他	実技検査 (体育実技)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500				1,000	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査									300		300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300		1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	追加合格 欠員補充
		個別学力検査										300	300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100				300	800	

表1

令和2年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名	
			教科	科目名等
教育学部 255名 前期156名 後期 59名 アドミッション・オフィス 40名	技術教育専修 4名 中等教育履修分野 4名 前期 中等教育履修分野 2名 後期 中等教育履修分野 1名 アドミッション・オフィス 中等教育履修分野 1名	前期 2月25日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2
			地歴公民理	地歴公民から2科目 } A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 } B 物、化、生、地 から1 } 地歴公民から1科目 } C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 } D 物、化、生、地 から2 } 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1
		外	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
		後期 3月12日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 } 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1
		地歴公民理	[5教科5科目若しくは6科目]	
		外		
	英語教育専修 12名 中等教育履修分野 12名 前期 中等教育履修分野 6名 後期 中等教育履修分野 4名 アドミッション・オフィス 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2
			地歴公民理	地歴公民から2科目 } A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 } B 物、化、生、地 から1 } 地歴公民から1科目 } C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 } D 物、化、生、地 から2 } 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1
		外	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
		後期 3月12日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 } 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1
		地歴公民理	[5教科5科目若しくは6科目]	
		外		
書道教育専修 15名 前期 9名 後期 5名 アドミッション・オフィス 1名	前期 2月25日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2	
		地歴公民理	地歴公民から2科目 } A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 } B 物、化、生、地 から1 } 地歴公民から1科目 } C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 } D 物、化、生、地 から2 } 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1	
	外	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]		
	後期 3月12日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } から1 ◆ B 物、化、生、地 から1 } 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1	
外	[3教科4科目] 又は [4教科4科目若しくは5科目]			
文化遺産教育専修 7名 前期 4名 後期 2名 アドミッション・オフィス 1名	前期 2月25日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2	
		地歴公民理	地歴公民から2科目 } A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 } B 物、化、生、地 から1 } 地歴公民から1科目 } C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 } D 物、化、生、地 から2 } 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1	
外	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]			
後期 3月12日	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } 必須 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 } から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 } 英・英リ、独、仏、中、韓 } から1		
外	[5教科5科目若しくは6科目]			

◆ 書道教育専修志願者で理科を選択する場合は、A又はBから選択すること。

選抜の実施教科・科目等について

(4/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配 合 点 計	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミ ッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 外 国 人
		個別学力検査								300		300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	追加合格 欠員補充
		個別学力検査									300	300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800	
英語	コミュニケーション 英語基礎 コミュニケーション 英語Ⅰ コミュニケーション 英語Ⅱ コミュニケーション 英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミ ッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 帰 国 生 徒 外 国 人
		個別学力検査							300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	500				1,200	
英語	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	200				600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査							300			300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	500				900	
その他	実技検査 (書道実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミ ッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 外 国 人
		個別学力検査							450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450			1,350	
その他	実技検査 (書道実技)	センター試験	200	◎100	◎100	◎100	◎100	◎100	100			500	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								500		500	
		計	200	◎100	◎100	◎100	◎100	◎100	100	500		1,000	
その他	小論文 (選択問 題として 造形表現 を含む)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミ ッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 外 国 人
		個別学力検査								450		450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200			450	1,350	
その他	小論文 (選択問 題として 造形表現 を含む)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								500		500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			500	1,000	

表 1 における留意事項

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、地理歴史、公民及び理科（基礎を付していない科目2科目）については第1解答科目の成績を、数学については高得点の科目の成績を用います。ただし、理科について、基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目1科目を受験している場合はどちらか高得点の科目を用います。
- 外国語のうち「英語」を選択した者については、リスニングテストの成績も用います。
まず、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、更にそれを各専修で定めた配点に換算するものとします。
なお、大学入試センターリスニングテスト免除者については、筆記試験200点満点を各専修で定めた配点に換算するものとします。
- 理科において、基礎を付した科目から2科目、基礎を付していない科目から1科目選択する場合、**同一名称を含む科目を選択しても構いません**。下記の例のような選択が可能です。

例：基礎を付した科目→物理基礎、化学基礎
基礎を付していない科目→化学

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ※は、選択教科を示し、「地理歴史、公民」及び「理科」を合わせて4科目以上受験した場合は、高得点の科目の成績を用います。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科で基礎を付していない科目（理科②）」において2科目受験をした場合は、得点に関係なく第1解答科目の成績が優先され、第2解答科目の成績だけを用いることはありません。

受験パターン			成績利用方法
例 I	地理歴史 公民	2 科目	地理歴史、公民の第 1 解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付した科目（2 科目合計）と基礎を付していない科目のうち高得点の科目 ②地理歴史、公民の第 2 解答科目と上記①以外の科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付した科目（2 科目合計）及び基礎を付していない科目（1 科目）	
例 II	地理歴史 公民	2 科目	地理歴史、公民の第 1 解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付していない科目の第 1 解答科目 ②地理歴史、公民と理科の基礎を付していない科目の第 2 解答科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付していない科目 2 科目	

- ※※は、選択教科を示し、地理歴史、公民の第1解答科目の成績を用います。
- は選択教科を示し、地理歴史、公民から2科目の成績を用います。
- ◎は地理歴史、公民の第1解答科目、理科の基礎を付した科目（2科目合計）、理科の基礎を付していない科目の第1解答科目、数学（数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報）から高得点の成績を用います。
- ★については、出願登録時に必ず受験する科目を選択してください。
- の配点内訳は、前期「音楽実技 350 点、楽典 100 点」、後期「音楽実技 400 点、楽典 100 点」とします。
- △の配点内訳は、実技検査のうち、紙による立体製作を実技検査点数全体の 1/3、静物写生を実技検査点数全体の 2/3 とします。
- 数学教育専修（前期日程）における個別学力検査の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（ベクトル、数列）です。
- 理科教育専修における個別学力検査の出題範囲は、次のとおりです。
 - ・「物理基礎・物理」は、物理基礎、物理の全範囲から出題します。
 - ・「化学基礎・化学」は、化学基礎、化学の全範囲から出題します。
 - ・「生物基礎・生物」は、生物基礎、生物の全範囲から出題します。
 - ・「地学基礎・地学」は、地学基礎、地学の全範囲から出題します。

表 2

実技検査等の内容・評価の観点（前期日程・後期日程共通）

専攻・専修	内 容 ・ 評 価 の 観 点												
音楽教育専修	<p>【検査内容】 以下の課題により、音楽的能力、理解力及び表現力をみます。</p> <table border="1" data-bbox="300 215 1350 674"> <tr> <td data-bbox="300 215 352 264">共通 種目</td> <td colspan="2" data-bbox="352 215 1350 264">1.楽典(和声・楽式を除く) 2.新曲視唱(8小節程度の旋律を階名視唱する。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 264 352 510">選 択 種 目</td> <td data-bbox="352 264 416 510">A</td> <td data-bbox="416 264 1350 510"> ピアノと声楽 1. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 2. 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) Sebben, crudele Cardara 二短調又はホ短調のいずれかを選択 (2) Lasciar d'amarti Gasparni へ短調 (3) Sogno Tosti 変ロ長調又は変イ長調のいずれかを選択 (4) Ich liebe dich Beethoven へ長調又はト長調のいずれかを選択 (5) An die Musik Schubert ハ長調又は二長調のいずれかを選択 (6) 浜辺の歌 成田為三 変イ長調又はへ長調のいずれかを選択 (7) 夏の思い出 中田喜直 へ長調又は変ホ長調のいずれかを選択 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 510 352 591">目</td> <td data-bbox="352 510 416 591">B</td> <td data-bbox="416 510 1350 591"> 管楽器とピアノ 1. 管楽器は任意の楽曲又は練習曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 591 352 674"></td> <td data-bbox="352 591 416 674">C</td> <td data-bbox="416 591 1350 674"> 邦楽器とピアノ 1. 邦楽器(箏又は三味線)の任意の楽曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 </td> </tr> </table> <p>【評価の観点】 ピアノ、声楽・管楽器、新曲視唱、楽典の検査により、音楽科を担当する教師としての資質、音楽的表現力、音楽の知識について評価します。</p> <p>【持ち物】 選択種目Bを選択する者は音楽実技種目記入票に記入した楽器を、Cを選択する者は邦楽器を各自持参してください。</p> <p>【備考】 (1) 共通種目2については、主和音、開始音のみ与えます。 (2) 選択種目はA・B・Cのうち、いずれか1つを選択してください。 声楽曲は、調性を選んで記入してください。なお、出願後の変更は認めません。 (3) 選択種目はすべて暗譜で演奏してください。 (4) ピアノ、声楽及び管楽器の楽曲は、繰り返しを行わないこととします。 (5) 管楽器、邦楽器については、リハーサル室を設けますが、ピアノと声楽については、リハーサル室はありません。ただし、決められた教室で発声練習はできます。 (6) 選択種目Bの管楽器は、吹奏楽で使用される管楽器に限りです。 (7) 選択種目は入学後の専門領域を意味するものではありません。 </p>	共通 種目	1.楽典(和声・楽式を除く) 2.新曲視唱(8小節程度の旋律を階名視唱する。)		選 択 種 目	A	ピアノと声楽 1. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 2. 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) Sebben, crudele Cardara 二短調又はホ短調のいずれかを選択 (2) Lasciar d'amarti Gasparni へ短調 (3) Sogno Tosti 変ロ長調又は変イ長調のいずれかを選択 (4) Ich liebe dich Beethoven へ長調又はト長調のいずれかを選択 (5) An die Musik Schubert ハ長調又は二長調のいずれかを選択 (6) 浜辺の歌 成田為三 変イ長調又はへ長調のいずれかを選択 (7) 夏の思い出 中田喜直 へ長調又は変ホ長調のいずれかを選択	目	B	管楽器とピアノ 1. 管楽器は任意の楽曲又は練習曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章		C	邦楽器とピアノ 1. 邦楽器(箏又は三味線)の任意の楽曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章
	共通 種目	1.楽典(和声・楽式を除く) 2.新曲視唱(8小節程度の旋律を階名視唱する。)											
選 択 種 目	A	ピアノと声楽 1. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 2. 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) Sebben, crudele Cardara 二短調又はホ短調のいずれかを選択 (2) Lasciar d'amarti Gasparni へ短調 (3) Sogno Tosti 変ロ長調又は変イ長調のいずれかを選択 (4) Ich liebe dich Beethoven へ長調又はト長調のいずれかを選択 (5) An die Musik Schubert ハ長調又は二長調のいずれかを選択 (6) 浜辺の歌 成田為三 変イ長調又はへ長調のいずれかを選択 (7) 夏の思い出 中田喜直 へ長調又は変ホ長調のいずれかを選択											
目	B	管楽器とピアノ 1. 管楽器は任意の楽曲又は練習曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章											
	C	邦楽器とピアノ 1. 邦楽器(箏又は三味線)の任意の楽曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章											
教科教育専攻	<p>【検査内容】 以下の2課題を行います。</p> <table border="1" data-bbox="300 1084 1410 1361"> <tr> <td data-bbox="300 1084 1410 1240">1. 紙による立体製作 1課題 1時間 < B 3判の両面色違いの造形紙(厚口5枚組) > と < B 4判の両面色違いの造形紙(薄口5枚組) > を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 1240 1410 1361">2. 静物写生(着彩) 1課題 2時間 身近にある3つ程度のモチーフ【プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器(洗剤)、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップなど】を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。</td> </tr> </table> <p>【検査時間・配当時間】 上記の配当時間は、おおよその目安ですので、合計3時間の中で自分の計画にあわせて変えてかまいません。またこの合計3時間のほかに、「説明及び準備時間」をとります。</p> <p>【評価の観点】 1. 紙による立体製作課題について 発想・構想に工夫は見られるか、紙の特徴を生かしたつくり方(山折り、谷折り、じゃばら折りなど)図画工作・美術の授業で用いる技法をしているかなどを総合的にみます。 2. 静物写生(着彩)について 形、材質感を捉えて表現できたか、色や画面構成は良いかなどを総合的にみます。 1、2の課題を通じて、図画工作や美術の授業で、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる資質・能力が備わっているのかをみます。 </p> <p>【持ち物】 はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式(アクリル系絵の具は不可)、パレット、筆、水入れ、雑巾を持参してください。その他の用具は持参してはいけません。 なお、立体製作の造形紙、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、仮とめ用クリップ、静物写生の紙、画板、イーゼル(画架)は、大学で用意するので不要です。</p>	1. 紙による立体製作 1課題 1時間 < B 3判の両面色違いの造形紙(厚口5枚組) > と < B 4判の両面色違いの造形紙(薄口5枚組) > を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。	2. 静物写生(着彩) 1課題 2時間 身近にある3つ程度のモチーフ【プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器(洗剤)、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップなど】を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。										
1. 紙による立体製作 1課題 1時間 < B 3判の両面色違いの造形紙(厚口5枚組) > と < B 4判の両面色違いの造形紙(薄口5枚組) > を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。													
2. 静物写生(着彩) 1課題 2時間 身近にある3つ程度のモチーフ【プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器(洗剤)、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップなど】を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。													
保健体育専修	<p>【検査内容】 以下の3領域において、5種目の検査を行います。 1. 陸上運動(50m走及びハンドボール投げ) 2. 器械運動(鉄棒運動及びマット運動) 3. ボール運動(ドッジボールを使った運動)</p> <p>【評価の観点】 上記の課題によって、基本的な運動能力を総合的に評価します。</p> <p>【持ち物】 運動靴(屋内用と屋外用の2足)・運動服を持参してください。</p> <p>【備考】 (1) スパイクシューズの使用は認めません。 (2) 着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示します。 (3) 雨天時には、上記の実技内容が一部変更されることがあります。 </p>												

<p>伝統文化 教育専攻</p>	<p>書道 教育専修</p>	<p>【検査内容】 以下の課題により、高校『書道Ⅰ』、『書道Ⅱ』教科書に掲載されている古典程度の基礎的な書道の表現能力をみます。 1. 臨書 漢字(楷書・行書)、仮名。いずれも半紙使用 2. 創作 半紙使用(漢字及び仮名の課題を指定するので、いずれかを選択して創作してください。) 【評価の観点】 1の課題について 課題となっている古典の特徴を捉え、点画の用筆表現ができているか、指定された文言が半紙にバランスよく収めることができているかをみます。 2の課題について 漢字、仮名ともに、基本点画の用筆法ができているか、文字構造がしっかり形どられているかをみます。 1、2の課題を総合的に採点し評価します。 【持ち物】 太筆(半紙6字書き程度)、仮名用細筆、墨(墨汁も可)、硯、文鎮、練習用半紙、下敷(半紙用)を持参してください。</p>
----------------------	--------------------	--

表3

小論文の内容・評価の観点

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
教育発達専攻	教育学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
	心理学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
		後期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
	幼年教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
	特別支援教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
後期日程		教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。	
教科教育専攻	国語教育専修	後期日程	与えられた課題文を正確に読解し、論理的に自分の考えや意見を述べることができるかどうか、また、日本語の基礎的な知識と表現力を備えているかどうかをみます。
	社会科教育専修	前期日程	現代の社会に関する諸問題についての関心や知識を幅広く持っていることをみるために、人文、社会等の分野から選んだテーマに即して論述解答させます。出題の意図を正確に把握し、論理的に自分の考えや意見を述べるができるかどうかをみます。
		後期日程	現代の家庭生活をとりまく諸問題について、関心や知識を幅広く持っているかをみます。出題の意図を理解し、論理的に自分の考えが述べられているか、文章構成力・表現力があるかなどを総合的に評価します。
	技術教育専修	前期日程	技術、ものづくりに関する考え方、発想などを問う問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力などを総合的に評価します。
伝統文化教育専攻	文化遺産教育専修	前期日程	まず文化遺産とその教育への活用方法に対する考え方を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。
		後期日程	まず文化遺産に関する基礎知識と、対象観察力・文章表現力を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。

表4

面接の内容・評価の観点

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
達教育専攻	教育学専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
	幼年教育専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育(保育)についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
教科教育専攻	数学教育専修	後期日程	[初等教育履修分野] 個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
			[中等教育履修分野] 個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	家庭科教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
技術教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本学を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。	

IV. 入試情報の開示について

令和2年度一般入試における個人成績の開示（不合格者のみに開示）

(1) 開示内容

下記①、②を文書送付により通知します。なお、成績内容についての問い合わせには応じられません。

- ① 大学入試センター試験の得点(総点)、本学が実施した個別学力検査等の得点(総点)、及び総合点
- ② 合格最低点(総合点)との得点差を4段階(A～D)で示したもの

(2) 開示請求方法

必要事項を記入した「入試個人成績開示申請書(本学所定)」に、本学受験票(原本)及び返信用封筒(404円切手を貼った、受験者本人宛の定形郵便封筒)を添えて、開示請求期間内に提出してください。

※ 入試個人成績開示申請書は、窓口、本学ホームページ及び郵送にて配布します。郵送による配布を希望する者は、表に「入試個人成績開示申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(84円切手を貼った、受験者本人宛の定形郵便封筒)を入れて、下記提出先まで送付してください。

〔開示請求期間〕令和2年5月1日(金)～令和2年5月29日(金)(必着)

(窓口での申請書配布は、土・日曜、祝日を除く9時～17時。)

〔提出先〕〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

(3) その他

対象は、令和2年度一般入試です。

前期日程、後期日程試験の両方を受験した者に対する個人成績の開示請求は、前期日程、後期日程試験の両方とも不合格であった場合に限りです。

V. 障害等を有する入学志願者との事前相談

本学を受験しようとする障害等を有する入学志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、本学に申し出て必ず事前に相談してください。

(1) 相談の期日

令和2年1月22日(水)まで

(2) 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類(様式任意)に医師の診断書を添付し提出してください。

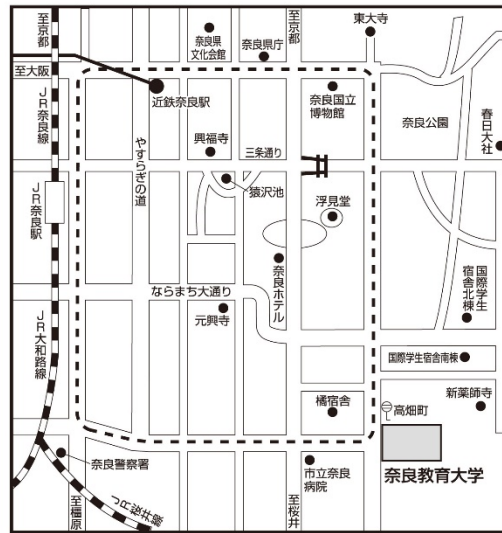
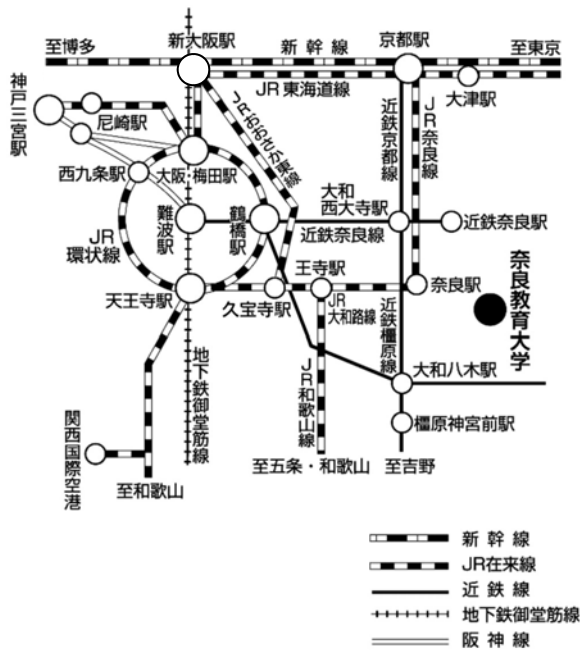
なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- ① 氏名及び出身学校名
- ② 障害等の種類、程度
- ③ 志望予定専攻・専修・履修分野名
- ④ 受験上の特別な措置を希望する事項
- ⑤ 修学上の特別な配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校でとられていた特別措置等の事項
- ⑦ 日常生活の状況
- ⑧ 連絡先(住所、電話番号等)

(3) 提出先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

試験場への順路



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約30分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学 入試課

TEL 0742-27-9126

FAX 0742-27-9145

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp